

I 年間指導計画の例

1 情報Aの年間指導計画の例

月	単元		時数 (実習)	指 導 内 容	目 標	指導上の留意点	備考
	大単元	小単元					
4	第1章 情報を理解しよう	第1節 私たちの暮らしと情報	1 (1)	・ 各校の実習環境利用についてのガイダンス ・ 情報社会とメディア ・ 身のまわりの情報機器やネットワーク、コンピュータの機能	・ 各校の実習環境と機器の利用のルールについて理解する。 ・ 教科の意義や目的について理解し、学習に対する興味をもつ。	・ 生徒個々のリテラシーの把握に努める ・ コンピュータ室の利用のルールは習慣化するように丁寧 - に指導する。 ・ 情報機器については、コンピュータ室で実物を見ながら指導する。	コンピュータ 周辺機器
		第2節 身近な問題を解決しよう	4 (2)	・ 効果的な問題解決と目的に応じた解決手順の工夫 ・ コンピュータや情報通信ネットワークなどの適切な活用 1 栄養バランスについて調査し、栄養バランスを考えた料理や弁当のプランを作る。 2 適正や職業情報を調べ、進路を考える。	・ 問題を解決するには様々な方法があることを理解する。 ・ どのような解決方法をとるかによって、作業の効率や得られる結果が異なってくることを理解する。 ・ 適切な情報手段が選択できるようになる。	・ 情報機器を含めた複数の解決方法を考えさせる。 ・ 導入の実習としてインターネットからの情報検索に深入りせず、比較の対象手段として簡単に触れる。	表計算ソフト ワープロソフト
5		第3節 情報伝達の工夫	6 (4)	・ 情報の的確な伝達と伝達内容に適した提示方法の工夫 ・ コンピュータや情報通信ネットワークなどの適切な活用 ・ プレゼンテーションソフトの活用 ・ その他の情報伝達手段の特性理解	・ クラス内で発表する場面において、情報伝達をするのに適切な情報伝達手段を活用できる。	・ 既成のテキストや画像ファイルを用意して、プレゼンテーションを作成することを通して、プレゼンテーションソフトの利用を簡単に扱う。	プレゼンテーションソフト
			6 (4)	・ メールソフトの活用方法 ・ Web ブラウザの様々な機能や仕組みを知る。	・ 電子メールによる情報伝達ができる。 ・ Web ページを使い各種情報量の大きさがイメージできる。	・ メールソフトについては確実に利用できるように指導する。 ・ このときに、利用する場合の注意点やモラルについても簡単に指導する。	メールソフト Web ブラウザ
6	第2章 情報を活かそう	第1節 情報の検索と収集	4 (3)	・ 情報通信ネットワークやデータベースの活用 ・ インターネットによる検索(絞り込み検索など)の活用 旅行プランを作る。	・ 検索の仕組みについて理解し、検索エンジンを活用した効率のよい情報検索ができるとともに、検索した情報をフォルダーに整理して保存できる。	・ 検索は、あらかじめ幾つかの目的を決めておいて行わせる。有害情報などを表示しないような配慮が必要。	データベース Web ブラウザ

月	単元		時数 (実習)	指 導 内 容	目 標	指導上の留意点	備考
	大単元	小単元					
7	第2章 情報を活かそう	第2節 情報の発信と共有	3 (3)	・ 情報の効果的な発信と情報の共有 ・ Web ページ作成ソフトの活用、表計算ソフト(グラフ化)、ワープロソフトとの統合	・ 適切な手段を活用して、情報を相手に適切に伝える方法について理解する。 ・ ワープロソフトを使って、グラフや、画像をまとめたドキュメントを作る。	・ 適切なソフトウェアを選択して、情報をまとめる実習を行うが、ソフトの操作法の習得よりも作品の伝達性や表現を重視して評価する。	表計算ソフト Web ページ作成ソフト
		第3節 情報を活かすために	1 (1)	情報の収集・発信の際に起こり得る問題点 ・ ファイルの大きさと圧縮 ・ 情報の信頼性、発信に伴う責任、プライバシーとセキュリティ ・ 著作権や知的所有権	・ 情報を収集・発信する場合様々な問題があることを理解する。 ・ 問題点の解決策について自己の考えがもてるとともに、行動していく心構えができる。	・ 具体的な事例を示して、グループによる話し合いを行い、発表させる。	グループによる話し合い
9	第3章 情報を伝えよう	第1節 情報を伝えるもの	8 (8)	コンピュータの機能とソフトウェア ・ 文章、画像、音声、動画、アニメなどのデータ処理とソフトの活用、デジタルカメラやスキャナその他の情報機器の活用	・ 情報機器を適切に活用し、素材の収集や加工を行うことができる。 ・ マルチメディア素材のデジタルファイルの仕組みを理解し、適切に活用できる。	・ マルチメディアの仕組みについては、原理的なことは詳細に取り扱わず、実際のデジタル素材を取り扱いながら、必要に応じて指導するようにする。	画像編集ソフト 音声編集ソフト デジタルカメラ
10		第2節 情報を統合しよう	22 (20)	収集した多様な形態のデジタル素材の統合 ・ Web ページの制作、発表、評価	・ 効果的な表現のあり方について理解し、多様な形態の情報を、オーサリングソフトを利用して統合することができる。	・ 遅れがちな生徒には個別指導を行い、選択できる難易度を提示する。 ・ ソフトウェアの使い方よりも表現力や伝達性をより重視した評価を行う。 ・ 全員の発表の時間配分に十分な余裕をもたせるとともに、相互評価を行う。	プレゼンテーションソフト Web ページ作成ソフト
11							
12							
1	第4章 情報を読み解こう	第1節 情報機器の発達とその仕組み	6 (1)	情報機器の発達の歴史 ・ 情報の記録方法と仕組み ・ 情報通信機器の発達	・ コンピュータ、情報通信ネットワークの歴史的な変遷を理解する。 ・ アナログとデジタル特性を理解する。		提示教材
2		第2節 情報社会と私たち	6 (2)	情報化の進展が生活に及ぼす影響	・ コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に使いこなす能力が重要であること及び将来にわたって情報技術の活用能力を高めていくことが必要であることを理解する。	・ ディベートのテーマは著作権や個人情報保護など学習の深化に繋がるものが望ましい。	ディベート
3		第3節 情報社会の未来に向けて	3 (1)	情報社会の進展と情報社会への参加 ・ 情報活用能力の向上 ・ 個人情報保護、著作権の侵害問題 ・ 情報リテラシーの向上			
			70 (50)				